

別記様式その3 (第7条関係)

議長	事務局長	次長	局員	
		小野	深谷	佐藤

令和5年3月31日

伊達市議会議長 菅野 喜明 様

会派名 日本共産党伊達市議団

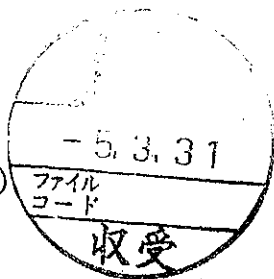
代表者氏名 佐藤 清壽



令和4年度政務活動費収支報告について

伊達市議会政務活動費の交付に関する条例第7条の規定に基づき、別紙のとおり  
令和4年度政務活動費収支報告書を提出します。

別記様式その2 (第7条関係)



令和4年度政務活動費収支報告書

会派名 日本共産党伊達市議団

代表者氏名 佐藤 清壽



1 収入

政務活動費 660,000円  
 利子 2円

2 支出

科目	金額	備考
研修費	0	
調査研究費	3,129	
要請・陳情活動費	0	
会議費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	0	
広報費	0	
広聴費	552	
事務諸費	27,852	
その他の経費	2	
合計	31,535	

備考 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 収入支出差引残額 628,467円



## 支 出 総 括 表

費用区分「調査研究費」  
( 1 / 1 )



整理番号	支払年月日	支払先	経費の内容	金額	備考
3	R4.11.29	伊達市民クラブ	田村市 田村バイオマス有志議員視察研修費用	3,129	
	計			3,129	

※ この総括表は「費用区分」ごとに作成し、合計額を収支報告書に転記する。

様式第1号 (第3条関係)


会派(議員)名	日本共産党伊達市議団
---------	------------

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議員
		

整理番号	<b>3</b>		
費用区分 (○で囲む)	研修費 <u>調査研究費</u> 要請・陳情活動費    会議費 資料作成費    資料購入費    広報費    広聴費 事務諸費    その他の経費		
支払年月日	令和4年11月29日	支出額	3,129円
経費の内容	田村市役所、田村バイオマス現地、郡山市「ハイテクプラザ」有志議員会派合同視察 研修費用。 (領収書に記載がある場合、記入不要)		
※ 領収書貼付欄 (貼りきれないときは裏面へ)			
<p><b>別紙添付</b></p>			

旅 費 計 算 書

期 間	令和 4年 11月 7日 ~ 令和 年 月 日				
参加者氏名	近藤真一 佐藤真也 島明美 柳田武志				
調査(研修)先及び住所	田村市役所、田村バイオマス現地、郡山市「県ハイテクプラザ」				
交通費	利用区間	自家用車(37円/km)			金額(円)
	伊達市役所→田村市役所→田村バイオマス現地→県ハイテクプラザ→伊達市役所	171 km			6327
	利用区間	交通機関	運賃	人数	備考
				人	
				人	
				人	
				人	
				人	
計					6327
その他 経費	費 目	内 訳			金額(円)
	宿泊費①	円 ×	泊 ×	人	0
	宿泊費②	円 ×	泊 ×	人	0
					0
					0
	駐車料金				
	車借上料(燃料代含む)				
	高速料金	船引三春→郡山(690円)郡山→伊達桑折(1,600円)			2290
	手土産代	手土産代2,850円 後日宅急便で発送1,050円			3900
	参加費	円 ×		人	0
	資料代	円 ×		部	0
	その他				
計				6190	
合 計				12517	
参加者按分	参加人数	4	会派(無会派)の参加人数	1	3129
受領日	令和 5年 11月 29日	受領者氏名	近藤真一		
備考	合計12517円のうち、参加者1人あたり3129.25円となる。1円未満の端数1円は幹事会派の伊達市民クラブで負担する。 領収書の原本については、伊達市民クラブに添付する。				

## 支 出 総 括 表

費用区分「広聴費」  
( 1 / 1 )



整理番号	支払年月日	支払先	経費の内容	金額	備考
5	R5.2.27	伊達市民クラブ	2月8日、10日開催、議会報告会お茶代金	552	
	計			552	

※ この総括表は「費用区分」ごとに作成し、合計額を収支報告書に転記する。

様式第1号 (第3条関係)

会派(議員)名	日本共産党伊達市議団
---------	------------

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議員
		

整理番号	5		
費用区分 (○で囲む)	研修費 調査研究費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 広報費 <b>広聴費</b> 事務諸費 その他の経費		
支払年月日	令和5年2月27日	支出額	552円
経費の内容	2月8日、10日開催、議会報告会のお茶代金。 (領収書に記載がある場合、記入不要)		
※ 領収書貼付欄 (貼りきれないときは裏面へ)			
<p><b>別紙添付</b></p>			



請 求 書

令和5年2月22日

日本共産党伊達市議団  
代表 佐藤 清壽 様

伊達市民クラブ  
代表 小野 誠滋

下記のとおり請求申し上げます。

ご 請 求 額	552円
納 入 期 限	令和5年3月3日

内 訳
2月8日、10日開催 議会報告会のお茶代金として (議員1人あたり276円を負担するものとし、伊達市民クラブについては端数18円を加算して負担する。)

領 収 書

日本共産党伊達市議団  
代表 佐藤 清壽 様

¥552円

2月8日、10日開催 議会報告会のお茶代金として  
上記正に領収しました。

令和5年 2 月 27 日

伊達市民クラブ  
代表 小野 誠滋



## 支 出 総 括 表

費用区分「事務諸費」  
( 1 / 1 )



整理番号	支払年月日	支払先	経費の内容	金額	備考
6	R5.3.10	伊達市	タブレット通信料(R4年5月～R5年3月分)	27,852	
	計			27,852	

※ この総括表は「費用区分」ごとに作成し、合計額を収支報告書に転記する。

様式第1号 (第3条関係)

会派(議員)名	日本共産党伊達市議団
---------	------------

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議員
		

整理番号	6		
費用区分 (○で囲む)	研修費 調査研究費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 広報費 広聴費 ○事務諸費 その他の経費		
支払年月日	令和5年3月10日	支出額	27,852円
経費の内容	タブレット通信料(令和4年5月~令和5年3月分)。 (領収書に記載がある場合、記入不要)		
※ 領収書貼付欄(貼りきれないときは裏面へ)			
別紙添付			

※領収書貼付欄

### 納入通知書兼領収書

〒 960-0605

伊達市保原町字元町 1 6 番地

日本共産党伊達市議団 代表 佐藤清壽

様

令和 4年度	現年	調定番号	1018024
		納付書番号	22382

担当課 議会事務局

**金額** 27,852 円

摘要 タブレット通信料 (令和 4 年 5 月～令和 5 年 3 月分 2 人分)

会計 01 一般会計  
款 21 諸収入  
項 05 雑入  
目 06 雑入  
節 08 雑入  
細節 07 雑入  
細々節 01 雑入

納期限 令和 5 年 3 月 15 日

上記の金額を納期限までに  
納入してください。  
福島県伊達市長

須田 博行



上記の金額を領収しました。  
福島県伊達市会計管理者  
分任出納員  
取扱金融機関

領収日付印



(納入者保管)

## 支 出 総 括 表

費用区分「その他の経費」  
( 1 / 1 )



整理番号	支払年月日	支払先	経費の内容	金額	備考
7	R5.3.23	伊達市	利子返還金	2	
	計			2	

※ この総括表は「費用区分」ごとに作成し、合計額を収支報告書に転記する。

様式第1号 (第3条関係)

会派(議員)名	日本共産党伊達市議団
---------	------------


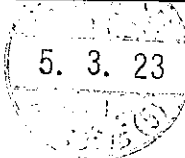
支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議員
		

整理番号	7		
費用区分 (○で囲む)	研修費 調査研究費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 広報費 広聴費 事務諸費 <u>その他の経費</u>		
支払年月日	令和5年3月23日	支出額	2円
経費の内容	利子返還金。 (領収書に記載がある場合、記入不要)		
※ 領収書貼付欄 (貼りきれないときは裏面へ)			
別紙添付			

※領収書貼付欄

### 納入通知書兼領収書

〒 960-0605 伊達市保原町字元町 1 6 番地		
日本共産党伊達市議団 代表 佐藤清壽		
様		
令和 4年度	現年	調定番号 1018777 納付書番号 23329
担当課 議会事務局		
<b>金額</b>		<b>2 円</b>
摘要 令和 4 年度政務活動費利子返還金 (日本共産党伊達市議団)		
会計	01	一般会計
款	21	諸収入
項	05	雑入
目	06	雑入
節	08	雑入
細節	07	雑入
細々節	01	雑入
納期限 令和 5 年 3 月 23 日		
上記の金額を納期限までに 納入してください。 福島県伊達市長 須田 博行		
上記の金額を領収しました。 福島県伊達市会計管理者 分任出納員 取扱金融機関		領収日付印 

(納入者保管)

※返納通知書兼領収書貼付欄

② 返納通知書兼領収書

〒 960-0605

伊達市保原町字元町 16 番地

日本共産党伊達市議団 代表 佐藤清壽

様

令和 4年度	現年	戻入番号 納付書番号	4650 - 2 24652
--------	----	---------------	-------------------

担当課 議会事務局

金額 300,000 円

摘要 令和 4 年度政務活動費（日本共産党伊達市議団 2 人分）上半期分（5 月～9 月分）返納金

会計 01 一般会計  
款 01 議会費  
項 01 議会費  
目 01 議会費  
節 18 負担金、補助及び交付金  
細節 02 補助金  
細々節 294 政務活動費補助金

納期限 令和 5 年 4 月 7 日

上記の金額を納期限までに  
納入してください。  
福島県伊達市長

須田 博行



上記の金額を領収しました。

福島県伊達市会計管理者

分任出納員

取扱金融機関

領収日付印





(納入者保管)



※返納通知書兼領収書貼付欄

返納通知書兼領収書

〒 960-0605 伊達市保原町字元町 1 6 番地			
日本共産党伊達市議団 代表 佐藤清壽			
様			
令和 4年度	現年	戻入番号 納付書番号	26078 - 2 24653
担当課 議会事務局			
<b>金額</b>		<b>328,467 円</b>	
摘要 令和 4 年度政務活動費（日本共産党伊達市議団 2 人分）下半期分（10 月分～3 月分）返納金			
会計 01 一般会計 款 01 議会費 項 01 議会費 目 01 議会費 節 18 負担金、補助及び交付金 細節 02 補助金 細々節 294 政務活動費補助金			
納期限		令和 5 年 4 月 7 日	
上記の金額を納期限までに 納入してください。 福島県伊達市長 須田 博行			
上記の金額を領収しました。 福島県伊達市会計管理者 分任出納員 取扱金融機関		領収日付印 	

(納入者保管)



議 長	事務局長	次 長	局 員

令和4年11月10日

政務活動報告書

伊達市議会議長 菅野 喜明 様

会 派 名

日本共産党伊達市議団

代表者又は議員名

近藤 眞一



活動の種別	研修会・講演会 先進地・現地調査 要請・陳情 諸会議 その他 ( )
期間	令和4年11月7日(月)
参加者名	近藤眞一、佐藤眞也、島明美、柳田武志
訪問先又は主催者 (名刺添付可)	田村市産業部、田村バイオマス エネルギーエージェンシー福島
場所	田村市役所、田村バイオマス現地、県ハイテクプラザ
行程及び旅費明細 (別紙添付も可)	自家用車にて(車と運転は佐藤眞也) ・高速料金：船引三春-郡山(990円)、郡山-伊達桑折 (1,600円) 計2,590円 ・田村市への菓子折りを翌日に宅急便で発送(菓子2850 円、宅急便1050円) 計3,900円
活動の内容 及び成果等	○田村市役所 田村バイオマスの概要の説明と質疑応答 (対応は商工課宗像係長、大橋議長他4名) ・工業団地は市が所有、田村バイオマスに土地を貸与 ・田村市も田村バイオマスの株主 ・建設費は52億円、3/4の39億円が復興加速化交付 金(市が申請し市に交付) ・木材チップのみを燃焼材料、燃焼温度は800度 ・冷却水は循環型、排水温度は20度で団地内貯水槽へ

- ・事業者が市と住民で構成した「地域協議会」を開催し業務内容の説明や意見交換をしている
- ・放射性物質等の測定は、自社測定と軽量業者測定を併用。空間線量、焼却灰・排水線量も測定、を毎月田村バイオマスのHPで公開
- ・揚水量 800 t/日以下（季節にもよる）

○田村バイオマス現地

- ・外から外観を見学（添付写真を参照）

○エネルギーエージェンシーふくしま

（対応は小熊チーフコーディネーター、服部所長、渡辺事務局長）

- ・プラスチックを燃焼させる場合には燃焼温度 850 度で 2 秒（これまでの常識では）。梁川の 800 度 4 秒は意味がない、その事例を私は知らない。他社の事例を確認する必要あり。
- ・発電規模からみて建築廃材の量はとんでもない量（10 万トン弱必要のはずで、トラック台数がかなり多くなり、輸送料もかかるはず）、いろんな問題が出るのではないかと心配されていた。
- ・梁川の建築廃材と廃プラスチックの割合 6 対 4 では採算が合わないと思われる、いずれ廃プラの割合を多くする可能性も否めないのではないか。（廃プラの割合を多くすることで採算をとる可能性あり。燃料調達計画が重要である）
- ・地下水の 1 日 2,556 トンのくみ上げの事例はほとんどない、一つ沖縄で 1 日 3,000 トンくみ上げた事例はあるが地盤沈下を起こした。
- ・環境アセスへの基準以下（梁川はギリギリ以下）であれば監視が難しい
- ・プラスチックを燃料とするバイオマス発電所は秋田県のエコシステム秋田（株）がある、参考にしては
- ・梁川バイオマスの設備図面ではプラスチックを燃焼させるための設備が足りないのでは？木質燃焼システムと廃プラ燃焼システムでは設備が違うはずである。
- ・環境影響評価の手続きフローについて、第 2 種事業（規

	<p>模が一定基準以下) の場合、簡易的な判定になり、全国で裁判等のトラブルの事例が多い、梁川も簡易判定と思われる</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・県の再生エネルギー課にも相談してください</li></ul>
--	---